

地球規模課題解決へ

総合生存学館が新拠点

京都大大学院総合生存学館は1日、地球規模の課題や社会変革が必要な課題の解決を目指す「ソーシャルイノベーションセンター」を9月1日付で設立したと発表した。学内の研究者や学外の企業などとの連携も進め、発信力を強化する。地球社会の持続可能な発展のための「水・エネルギー・防災」をはじめ、仮想通貨を教理的に研究する「ブロックチェーン」▽人と人とのつながりと幸福感との関係を科学的に解明する「ウエルビーイング」▽月や火星に居住するために必要な技術の開発を目指す「有人宇宙学」――の四つの研究領域から出発する。



ソーシャルイノベーションセンターの設立を発表した京都大大学院総合生存学館の齋藤学館長（左から2番目）ら（左京区）

センター長の齋藤・同学館長は記者会見で「企業との共同研究による技術革新だけでなく、社会起業家らとも協力しながら社会を動かしていきたい。京大と組み、社会貢献がしたい学外の人からの窓口になれれば」と話した。

（小林正典）